

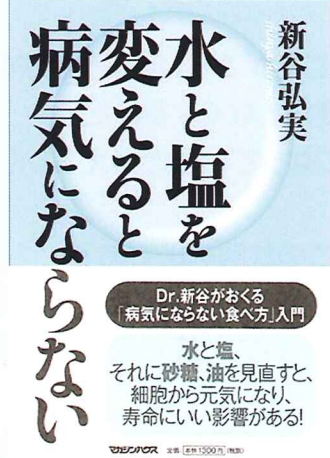
ACM π ウォーター通信

No.16

編集・発行／株式会社 エイ・シー・エム 企画部 〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10 TEL.03-3634-7373 2011年4月発行

3月11日発生しました東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

「水と塩を変えると病気になる」(マガジンハウス刊)でACM π ウォーターが紹介されました!



新谷弘実先生の新著「水と塩を変えると病気になる」(1365円)が、マガジンハウスから3月10日に発売されました。この本のSTEP12のなかで、良い水の摂り方⑤「遺伝子を元気にする水がある?」のタイトルで、生命を育む水「ACM π ウォーター」が4頁にわたって紹介されています。(紹介ページは50頁から53頁)その概要を紹介すると、以下の通りです。水の機能性を高めるという意味では、水が生命を生み出し、化学反応が行われる「場」とあるという点に注目する必要性もあります。

◆細胞の70%は水

この章の冒頭で述べた「細胞の70%が水で占められている」という事実を思い出して下さい。細胞内の水(細胞内液)は、食事や飲料水などから摂取した水を原料にしていますが、正確には水そのものではありません。たとえば、通常の水を放置しておけば、やがて腐敗してしましますが、細胞内の水にはこうした化学変化が起こらず、外部の菌やウイルスから身を守り、細胞内の各器官の働きをうながすなど、むしろ生命を維持したり、蘇生させたりする方向に働きます。要するに、摂取した水は体内でこうした「生体水」に切り替えられることで、初めて私たちの生命活動に寄与できるようになるのです。私が「お茶やコーヒー、清涼飲料水は、水の代わりにならない」と言っているのは、この切り替えに余計なエネルギーが浪費されてしまうからです。もちろん水ならどんな水でもいいわけではありません。ここまでの話をふまれば、生体水に近い水の方が体にスムーズに吸収され、細胞活性につながる事がわかるでしょう。つまり活性度が高い水であるということは、「生体水」に近い水、もっと言えば「生命の水」であるということになります。

世界には、こうした生命の水が少なからずあると言われているのですが、私が今注目しているのは、農学博士の山下昭治氏(元名古屋大学農学部)が発見したことで知られる「 π ウォーター」です。

山下氏の理論によると、摂取した水は、細胞膜がろ過する際にごく微量の特殊な鉄分(二価三価鉄塩)が働くことで生体水に誘導されていると言います。

どんな水分も最終的には、この二価三価鉄塩によって生体水に変えられるわけですが、この切り替え作業でエネルギーが浪費されてしまうことはさきほど述べた通りです。それならば、最初から「二価三価鉄塩に誘導された水」を摂取したほうがいいことになるでしょう。

分かりやすく言えば、こうした発想のもとに開発されたのが π ウォーターなのです。

◆ π ウォーターは遺伝子活性をうながす!

π ウォーターのメカニズムは、科学的に解明されたものではありませんが、過去の様々な実験によって植物の生長を促進させ、環境を浄化させるほか、免疫力や細胞の再生力、抗ガン作用などを高める効果が確認されています。「植物が花を咲かせるのは、二価三価鉄塩が温度や光の情報を植物の種子遺伝子伝達にしているからだ」とも言われていますから、私としては右に挙げたような効果は遺伝子活性がうながされることによって得られるのではないかと感じています。

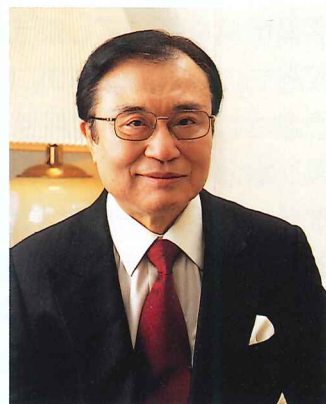
臨床効果が高い水なので、今後さらなる研究が進むことを期待しましょう。ただ、ここまで活性度の高い水について解説してきましたが、良く似た効果をうたう水は少なくなく、その中には客観的な検証に耐えられないものも数多くあります。

この点についてはよく注意して入手する必要がありますが、その反面、生命を生み出す母体である水には、ミステリアスな要素がどうしてもつきまといまいます。このまま科学が進歩しても、そのすべてが解明されるとは必ずしも言えないのです。皆さんにしっかりと認識してほしいのは、「良

い水を飲むことは自分自身の生命を育むことにつながる」というシンプルな事実です。この章の解説を参考にしながら、細胞に負担をかけてしまうような水の摂り方を少しずつ改善していき下さい。それが健康状態を保ち、イキイキと生きていく一番の基礎となるのです。

新谷先生のコメント

「おいしい水」「体にいい水」の条件としては、一般的にはミネラルの含有量や硬度(カルシウムとマグネシウムの割合)、残留塩素の有無、水温などが挙げられますが、私はこうした条件も考慮に入れつつ、最終的には「生体水に近い」ということを最も重視すべき点だと考えています。この認識が欠けてしまうと、「生命を育む」という水の本当の価値が見失われてしまうと思うのです。 π ウォーターの理論にはまだまだ未解明の要素もありますが、この条件=生命活性を裏付けるデータが数多く見られます。いくつかある「 π ウォーター」の中では、「ACM π ウォーター」の信頼度が最も高いでしょう。



■新谷弘実先生略歴

1935年、福岡県生まれ。アルバート・アインシュタイン医科大学教授、北里大学客員教授(研究員)。順天堂大学医学部卒業後、1963年にアメリカ・ニューヨークに留学。新しい医学発展の可能性を探るため、ベス・イスラエル病院に勤務。1969年、大腸内視鏡による大腸ポリープの切除に世界で初めて成功し、以来、35万例以上の胃腸内視鏡検査と10万例以上のポリープ切除手術を行っている。1975年、アメリカ胃腸内視鏡学会にてアメリカ胃腸内視鏡学会最高賞受賞。2006年、Physician of the year「ニューヨーク名誉市民賞」受賞。

著書にミリオンセラーになった「病気になる生き方」シリーズなどがある。

<新谷弘実先生の本を抽選で5名の方にプレゼント>

ACM社では、「水と塩を変えると病気になる」を抽選で5名様にプレゼント致します。ご希望の方は、はがきに、新谷先生の本希望と書き、郵便番号、住所、お名前、年齢も記入し、下記までお申し込み下さい。

記

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10

株式会社 ACM 企画部「新谷先生の本」係

締め切りは、5月10日まで。



π ウォーター浄水器
超水「MW-1000」

ACM π ウォーターとは

元名古屋大学農学博士、山下昭治先生の30年にわたる生体システムの研究によって生まれたのが π ウォーターです。 π ウォーターは、見掛けは普通の水と同じようですが、成分的にも、物性的にも普通の水とは異なり、多くの違いを持っています。成分的には各種ミネラルが、種類・量ともバランスよく含まれ、しかも吸収しやすい形となっています。物性的には電気伝導率が低く、浸透性が高いという理想的な性質を持っています。

最近では、水の品質を比べる際に「クラスター」の大小が良く論じられます。これまでは、水に含まれる成分と、含まれてはならない成分とが主に焦点となっていました。最近では、これにクラスターが加わったことになります。

水は、水素分子(H)2個と酸素分子(O)1個で1つの水分子となります。

しかし実際の水は、1個の水分子だけで存在するわけではありません。少なくとも5個~12個の単位でまとまって存在しています。

この集団のことをクラスターと言います。このクラスターが小さいほど浸透性があり、からだのすみずみにまで行き渡り、健康に良い水といわれています。

π ウォーターは普通の水に比べてこのクラスターが非常に小さいのも、大きな特長になっています。ACM π ウォーターは、26年前から現在に至るまで、 π ウォーターの発見者である山下昭治先生に指導をいただき創られている日本で唯一の π ウォーターなのです。



「ヴァルナ π GOLD」 「ヴァルナ π ウォーター」

大震災の影響によりストレスのたまっている方も十分な給水で、体調管理を!!

3月11日発生しました東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

今回の大震災で被災された方々の体調維持には、水の摂取が欠かせません。また、直接の被害は受けなかった方も、計画停電や交通渋滞、ガソリンや灯油、その他生活用品の不足等で、ストレスがたまってきている方も多いと思われます。

◆ ストレスは、水分不足からも来る!

ストレスをため過ぎると、感情のエネルギーの行き場がなくなり、交感神経、副交感神経という自律神経のバランスが偏ってしまう。

その結果、イライラ、動悸、めまい、耳鳴り、頭痛、肩こり、便秘など様々な症状があらわれてくる。そのつらさをまぎらわせるため、喫煙、アルコール、甘い物の多量摂取が、進行していく。

困ったことにこれらのすべてが、血液ドロドロの要因であり、いわゆる生活習慣病を招いてしまう。また、ストレスによる活性酸素の増加と血管の収縮も血液をドロドロにし、血管を傷つけ、動脈硬化を引き起こすことが懸念されている。関戸整体院院長の関戸秀臣先生は、そのストレスの原因が水分不足にもあると判断しているとか。

水分が不足した体は、内因ストレスを抱え込み、仕事、生活、環境からくる外因ストレスに敏感に反応するようになる。

これらの反応の悪い影響をまともに受けると、さらにストレスを溜めるようになる。反対に、水分に満ちたみずみずしい健康な体は、たとえ外因ストレスがあっても、それを受け流す余裕を保持できるのだ。

◆ 暴飲暴食を招くストレスを水で撃退!

「食べ物を食べるとお腹がふくするように、水を飲み続けていると、体内の血管に水がいきわたり、体が『満ちた!』と実感できるはず。そして自然に気持ちも落ち着いてくるのです。」と関戸先生。

体が自然と満ちている状態になれば、生活習慣病の元凶である暴飲暴食が軽減する。

イライラも少なくなり、喫煙量や酒量も減らすことができ、自然と薄味を好むようになり、濃い塩味、極端な甘いものも要求しなくなるのだ。

そしてこの状態にあるとき、血液はサラサラになっていると考えていいのだとも。

つまり、逆にストレス過多の状態は、血液ドロドロの状態なのである。

「水をたくさん飲めば、自律神経の偏った状態が、本来のバランスに戻り、体温調節、消化、循環の各能力が正常になり、ストレスを跳ね返す体力ができ、同時に血液も蘇ります。

ストレスを抑えて体を良好な状態に保つためには、1日1、5リットル以上の水(πウォーター)を飲むのが、体にやさしい生活術だと言えます。

つらい体の症状は「水を飲め」のサイン、と考えて、毎日シッカリ1、5リットル以上の水(πウォーター)を飲める体質を目指していくことが重要です。

※以上「水で血液サラサラ」(別冊宝島編集部編)の122頁～124頁より抜粋。

福井県越前市の老舗豆腐店が大型πウォーター浄水器「MW-11000S」を導入!



是広商店工場の玄関



工場の玄関前を澄んだ水のせせらぎが流れている

このほど、福井県越前市にある老舗豆腐店「是広商店」が、大型浄水器の「ライフクリーンMW-11000S」を豆腐製造用に導入し、πウォーター豆腐作りを開始した。

「是広商店」は、越前市で創業以来140年間続く老舗の豆腐店で、1日五千丁の各種豆腐や油揚げ、こんにゃく等の食品を作り、福井県内のスーパーや食料品店に供給している。

福井県は、永平寺のごま豆腐などの豆腐料理も有名で、福井県産の大豆を使った各種豆腐の生産も広く行われています。

「是広商店」の是広憲一さんは、越前市本保町の自宅の豊富な地下水を汲み上げ、大型πウォーター浄水器で処理したπウォーターによる豆腐作りを3月上旬にスタートさせ、その品質に自信を深めている。

『ライフクリーンMW-11000S』で製造した「πウォーター豆腐」は、従来の豆腐に比べ、食感、美味しさの面で一段とレベルアップしたこと、また豆腐自身の色が、専門家の眼で見ても、光沢面で優れているという結果に、十分満足しているとのこと。

更に、福井県内の専門の水質分析センターに、πウォーター浄水器の水を分析依頼したその結果でも、最高レベルの水質だとの折り紙つき分析結果も出て、ACM社のπウォーター浄水器を採用したことを、非常に喜んでいる。

■「是広商店」について

福井県越前市にある創業140年の老舗豆腐・関連食品の製造卸店。

住所：福井県越前市本保町14-29

電話：0778-24-0180



是広商店が製造している主力商品

【大型πウォーター浄水器「ライフクリーンMW-11000S」について】

■ 本体寸法：

32センチ(直径)×132センチ(高さ)

■ ろ過流量：100リットル(毎分)

■ 浄水能力：約880トン

(1日1,200リットル使用で約2年)

■ 価格：160万円(税別)

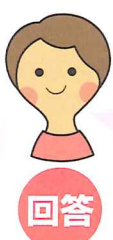


設置された浄水器「MW-11000S」

浄水器カートリッジ交換の問い合わせ



浄水器のカートリッジを交換したいのですが、どこへ問い合わせをしたらよいのでしょうか??



製品をご購入された代理店へお問い合わせください。
* 万が一、購入された代理店が不明または連絡がつかない場合には、以下へご連絡をお願いします。
製造元:株式会社エイ・シー・エム
フリーダイヤル:0120-369-202



カートリッジを交換して、おいしい水を飲みましょう!!

浄水器カートリッジ交換お問い合わせ代理店